

大阪府茨木市における基本計画の概要

計画のポイント

茨木市の経済や雇用などを支え、市の活力を担ってきた先駆的な存在である製造業は、市内の産業構造を支える重要な位置づけにある。製造業の中でも化学工業、食料品製造業、プラスチック製品製造業が付加価値額及び売上高の上位を占めている。また、彩都ライフサイエンスパークにおいては、高度な技術を持つ多数のライフサイエンス関連企業が集積している。こうした製造業や医療・医薬品関連等の産業集積を生かし、茨木市の施策を組み合わせながら、生産技術力や研究開発力のさらなる高度化を目指すとともに、質の高い雇用の創出や地域内の他産業への経済的波及効果により地域経済の活性化を図る。

促進区域

大阪府茨木市

経済的効果の目標

1件あたり平均68.89百万円の付加価値額を創出する地域経済牽引事業を6件創出し、これらの地域経済牽引事業が促進区域で1.33倍の波及効果を与え、促進区域で549.7百万円の付加価値を創出することを目指す。

地域経済牽引事業の承認要件

【要件1：地域の特性を活用すること】

- ① 茨木市の食料品製造業、化学工業、プラスチック製品製造業等の産業集積を活用した成長ものづくり分野
- ② 茨木市の医療・医薬品関連等の産業集積を活用したライフサイエンス分野

【要件2：高い付加価値を創出すること】

- 付加価値増加分：68.89百万円超

【要件3：いずれかの経済的効果が見込まれること】

- 売上：1%以上増加
- 雇用者数：4%以上増加
- 雇用者給与等支給額：4%以上増加

制度・事業環境の整備

茨木市企業立地促進奨励金制度、茨木市成長産業特区税制、茨木市バイオインキュベーション施設集積促進事業、茨木市バイオインキュベーション施設賃料補助事業、茨木市産学連携スタートアップ支援事業、茨木市中小企業人材育成支援事業、茨木市正規雇用促進奨励金、大阪府彩都バイオベンチャー設備費補助事業、オープンカンパニーなど

地域経済牽引支援機関

茨木商工会議所、北おおさか信用金庫、株式会社きたしん総合研究所、学校法人追手門学院、学校法人梅花学園、学校法人立命館、学校法人大阪成蹊学園、国立大学法人大阪大学、学校法人龍谷大学、学校法人藍野大学、国立大学法人奈良女子大学、学校法人大阪医科薬科大学、学校法人行岡保健衛生学園、学校法人瓜生山学園京都芸術大学

《促進区域図》



彩都ライフサイエンスパーク



ビジネスマッチングフェア



計画期間

計画同意の日（令和7年4月1日）から令和11年度末日まで